

耳鼻咽喉科

診療科のご紹介

当科は聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚、嚥下など、感覚器や生活するうえで重要な機能を扱っています。難聴の原因の一つである慢性中耳炎、穿孔性中耳炎、真珠腫性中耳炎などに対する鼓室・鼓膜形成術を積極的に施行し、良好な成績を残しています。また慢性副鼻腔炎や鼻中隔彎曲症に、内視鏡を使用した手術で負担軽減かつ安全な手術の施行を目指しています。

特殊外来としてめまい外来を設置しています。一般的な耳鼻咽喉科と比べめまいが占める割合が高いことが特徴です。また、睡眠時無呼吸外来でいびき・睡眠時無呼吸の患者の診断・治療も積極的に行っています。特に睡眠時無呼吸症候群は心・血管系や代謝系への影響など全身的疾患との関連性も高く、当院では各診療科と連携し総合的に治療できることが特徴です。

その他、一般的耳鼻咽喉科疾患に対応し、標準的な治療を行っています。また、耳下腺、顎下腺、甲状腺腫瘍など頭頸部の良性腫瘍に対する治療を頭頸部外科専門医師と連携しながら行っています。

なお、当院で頭頸部がんは扱っていません。

診療科で対象とする症状

耳	難聴、耳の詰まった感じ、耳鳴り、耳だれ、耳の痛みなど
鼻	鼻づまり、鼻水、くしゃみ、鼻の痛み、鼻血、鼻づまりに伴う顔面の痛み・頭痛、臭いがしにくいなど
のど	のどの痛み、違和感、飲み込みにくい、声がかすれる、咳など
めまい	ぐるぐる回る、ふらふらするなど

その他	顔面が動かない、首・耳の下・顎の腫れ・痛み、いびき、睡眠時の無呼吸、味がしない、口が渇くなど
-----	--

診療科の対象疾患

手術対象

※すべて手術が必要という意味ではありません。

耳	慢性中耳炎、穿孔性中耳炎、真珠腫性中耳炎、耳硬化症、滲出性中耳炎、外リンパ瘻、顔面神経麻痺、良性発作性頭位めまい、耳瘻孔、外耳道腫瘍、外耳道異物など
鼻	慢性副鼻腔炎、鼻茸、鼻中隔彎曲症、アレルギー性鼻炎、鼻・副鼻腔腫瘍、副鼻腔真菌症、鼻腔異物、鼻骨骨折など
のど	反復性扁桃炎、扁桃肥大、扁桃病巣感染症、扁桃周囲膿瘍、アデノイド増殖症、声帯ポリープ、咽頭異物など
頭頸部	甲状腺腫瘍、耳下腺腫瘍、顎下腺腫瘍、唾石症、深頸部膿瘍など

手術以外

※すべて手術が不要という意味ではありません。

耳	外耳道炎、急性中耳炎、滲出性中耳炎、慢性中耳炎、耳管開放症、突発性難聴、急性低音障害型感音難聴、メニエール病、聴神経腫瘍など
鼻	鼻炎（アレルギーなど）、鼻出血、急性副鼻腔炎、慢性副鼻腔炎、感冒など

のど	急性咽頭炎、急性扁桃炎、扁桃周囲炎・膿瘍、急性喉頭蓋炎、急性喉頭炎、声帯ポリープ、反回神経麻痺、感冒など
めまい	良性発作性頭位めまい、メニエール病、前庭神経炎、突発性難聴、起立性調節障害、椎骨脳底動脈循環不全など
その他	顔面神経麻痺、頸部リンパ節炎、流行性耳下腺炎、急性耳下腺炎、顎下腺炎、深頸部感染症、いびき・睡眠時無呼吸症候群など

検査、手術

検査

PSG（終夜睡眠ポリグラフ検査）は、睡眠時無呼吸症候群を診断する検査です。当科では金曜日に1泊入院にて検査しています。無呼吸の原因やその他の疾患がないかなどを詳しく調べる検査です。その前段階として、自宅で行う簡易検査も行っていますので、お気軽にご相談ください。

外来検査および外来手術は、主に月曜・金曜の午後に行っています。入院しなくても安全に行うことができる手術・検査を外来で行っています。

手術

中耳炎に対する鼓室形成術や、慢性副鼻腔炎に対するESS（内視鏡下副鼻腔手術）が増加しています。いずれも顕微鏡や内視鏡を用いて、手術中の確認を複数人によって行うことでより安全に施行しています。また、クリニカルパスを導入し、より短期間で良質な医療を提供できるよう心掛けています。鼓室形成術は、原則として約1週間の入院期間としていますが、疾患の状況や術後の外来通院が可能な方の場合、より短期間で行うことも可能ですので外来受診時にご相談ください。